

九州地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	九州地区通研大会	運営・教務	本校の現状報告 ～私立大学付属校としての7年間の取り組み～	開学8年目の私立大学付属の広域通信制高校としての状況を生徒募集を中心に総括。開設前から現在までの募集活動、特に新しく始めるようになった募集活動とその狙いを紹介し、生徒募集は「学校を正しく理解してもらうこと」とまとめている。	近畿大学付属福岡高校
H26	2	九州地区通研大会	教科指導（体育）	生きる力育成を目指した通信制課程における体育実技の工夫 ～心拍数及びメンタルトレーニングを通して～	心拍変動に関するトレーニングを通じて自己コントロール力が育成され、生徒の主体性が増すという仮説を立て、トレーニングのほかにワークシートや、エゴグラム・考え方のクセ診断も活用して検証、教育の相乗効果の実感を得たことを報告した。	沖縄県立泊高校
H26	3	九州地区通研大会	教科指導（英語）	これならできる！ 自己肯定感を高める入門期の英語指導	新入生に英語への苦手意識と諦めを持つ生徒が多い中、学校設定科目「英語入門」で自信をつけさせ高校の英語学習につなげることを目指した取り組み。英語の音声指導や文法指導で気を付けていることや工夫を紹介し、実践の成果と課題を検討した。	長崎県立鳴滝高校
H26	4	九州地区通研大会	人権教育	生徒と向き合う人権教育を目指して	島嶼部を含み14校の協力校を持つ通信制高校。新入・転編入の状況と背景を紹介、生徒が最後の救いとして通信制に来ることを言及。その背景を踏まえた人権同和教育、チームでの支援や多様な連携を意識した教育相談・特別支援教育の実践を紹介。	鹿児島県立開陽高校
H26	5	九州地区通研大会	放送教育	宮崎東高校の放送教育の現状及び今後について	放送視聴の利用について、規定を含めた生徒への周知、放送視聴の指導の実態、アンケート調査結果を紹介・報告。放送視聴が能率的な自学自習の促進に有効である一方、活用が浸透していなかったことが課題として導出された。	宮崎県立宮崎東高校
H27	1	九州地区通研大会	運営・教務	本校の現状報告 ～新しい取り組みを通して～	入学者減と卒業生減、生徒の多様化に直面する中で、入学者増のために広報活動と入試を見直し、学習支援のために年次を、行事の活発化のための地区を組み込んだクラス編成の導入を行った高校の実践。その成果としての単位修得率と進路実績の紹介。	福岡県立博多青松高校
H27	2	九州地区通研大会	教科指導（理科）	理科における電子黒板の利活用について	県内公立の全定の課程で電子黒板が普及し、通信制でも2教室に電子黒板が導入された。その中で知識定着、思考力・問題解決能力向上を目指し、電子黒板を用いた理科実践を行い、「見える化」の工夫、実践の課題と改善などを紹介した。	佐賀県立佐賀北高校

H27	3	九州地区通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の取り組み	全日制・通信制を併設し限られた教員数で生徒に対応、保護者と連携することの困難を感じながら、どのように生徒指導を行っているかの現状と取り組みを報告。校務分掌の仕組みと、安全・安心の視点も含めた生徒指導の実施内容を紹介している。	福智高校
H27	4	九州地区通研大会	機関広報誌	機関紙『通教みやざき』の歴史・現状・これから	戦後すぐから発刊されている学校の通信制の機関紙について歴史、変遷、現在の編集・発行体制、記事内容を紹介。機関紙に関するアンケートから、さらに多くの生徒・保護者に目を通してもらうための工夫について検討している。	宮崎県立宮崎東高校
H27	5	九州地区通研大会	放送教育	ICTを活用した放送教育の推進を目指して	ICT活用による教育の直近3か年の報告。約10年ぶりに面接室や生徒用パソコンの再整備を行ったこと、生徒のインターネット利用環境実態調査と、放送教育に関するアンケート行い、結果を紹介している。	熊本県立湧心館高校
H28	1	九州地区通研大会	運営・教務	通信制課程における教育企画部の試み	卒業までの期間が3～6年で選べる、自県以外に他2県からも出願が可能な公立高校。アクティブラーニングの推進、ICT活用の研究、Facebookやブログの活用、学校図書館の活用推進、総合的な学習の時間のスクーリング、中学生用パンフレットの作成などの取り組みについてを紹介。	大分県立爽風館高校
H28	2	九州地区通研大会	教科指導（国語）	SST（ソーシャルスキルトレーニング）の手法を取り入れた国語教育の可能性	コミュニケーション能力向上や社会性の育成を目指して国語科でSSTを取り入れた事例。学校設定科目「国語入門」のでSST指導の実際、challengeスクールやLHRでのSST導入の実践、それらでの成果と課題を紹介している。	宮崎県立延岡青朋高校
H28	3	九州地区通研大会	教科指導（情報）	生徒の能力に応じた実習課題の設定	「社会と情報」において生徒の能力差を考慮したスクーリングでの実習を研究した3年間の実践。実習の効率化の工夫として、基礎課題と応用課題を設け、各年度でアンケートを実施し、課題を変更して行ったことを紹介している。	鹿児島実業高校
H28	4	九州地区通研大会	教科指導（数学）	本校における数学科の取り組みについて～レポートおよび面接授業における教材の精選について～	単位制だが学年制を取り入れた公立高校。生徒の変化や教育課程の状況を踏まえた過去6年間の数学科のカリキュラム、現状のレポート・面接授業・定期考査の仕組み、生徒の学力実態を紹介、実態を踏まえたレポートや面接授業の工夫を紹介している。	長崎県立佐世保中央高校
H28	5	九州地区通研大会	放送教育	E-learnigを利用した学習支援の研究 ～協力校に対するコミュニケーションツールの模索と実現～	本校と3つの島の4か所でスクーリングを実施。離島の状況で生徒の特別活動への参加が難しいなどの課題がある。そこで、ウェブテレビ会議やライブ配信を用いたE-learnigによりコミュニケーションを図るための実践を行い、内容について紹介。	沖縄県立泊高校

H29	1	九州地区通研大会	運営・教務	本校の活性化に向けた取り組みー現在の取り組みと今後の課題ー	多様な生徒を受け入れる私立単位制・通信制課程普通科の独立校（小規模校）において、生徒増につながった理由をクラス編成、授業、進路指導、学校説明会、行事、地域連携などの取り組みの分析から探った。	学校法人府内学園 府内高校
H29	2	九州地区通研大会	情報	【社会と情報】におけるパソコン実習の内容検証する	面接指導を協力校で現地校教師が行う県立高校での実践の検討・紹介。内容は教科情報のうち「社会と情報」の科目で、理論的な内容（レポート学習）をもとに体験的に触れる面接指導（パソコン実習）をどう行ってきたかとその成果。	長崎県立鳴滝高校
H29	3	九州地区通研大会	総合学習	「総合的な学習の時間」の現状分析と本校の取り組み	私立通信制高校での「総合的な学習の時間」に関して、学習指導要領での提示のされ方（含：通信制課程における教育課程の特例）、本校での取り組み・現状分析結果、アクティブ・ラーニングの観点や生徒の主体的学びの観点からの実践例を紹介。	第一薬科大学附属高校
H29	4	九州地区通研大会	人権教育	「人権教育における平和学習の実践について」ーひめゆり学徒の足跡をたどる平和学習フィールドワーカー	人とかかわりの苦手な生徒も多い通信制で、「総合学習」の一環での人権教育・平和教育を通じた生徒の内面の探求や他者への考察を深めて生きる力をつける教育実践を実施。フィールドワークまでの実際、実践とその後の生徒の反応を紹介した。	沖縄県立宜野湾高校
H29	5	九州地区通研大会	放送教育	「一人ひとりを大切に学習支援をめざして」	在籍生徒の特徴と3年間での学籍状況を基にした通信制高校の生徒層の検討と、生徒への教育実践としてのTV会議システムによるスクーリング、HPを利用した学習支援、スクーリングでのNHK高校講座の利用の実施についての紹介。	鹿児島県立開陽高校
H30	1	九州地区通研大会	運営・教務	書字障害の生徒に対する合理的配慮について	入試における合理的配慮の要望を契機に、書字障害の生徒への配慮について検討した事例。書字障害の具体的内容、要望を受けての対応、中学校からの引継ぎの仕方、教職員への周知、生徒側のと学校のやり取りなどを報告している。	宮崎県立宮崎東高校
H30	2	九州地区通研大会	教科指導（地歴・公民）	地理歴史・公民科における『主体的・対話的で深い学び』への取り組み	通信制での生徒の実態を踏まえて「主体的・対話的で深い学び」を引き出すための指導のあり方を探求した事例。九州地区通研での地歴公民科指導のアンケート結果と本校での取り組みとしての面接指導やレポートで作文を導入した実践の検証などを紹介している。	熊本県立湧心館高等学校
H30	3	九州地区通研大会	教科指導（理科）	理科におけるICTの利活用について	理科に対する興味・関心・理解を高める面接指導に向けて視聴覚教材の利用、電子黒板をなどのICT機器の活用で見えてきた生徒の理科教育に対する状況を報告、今後の理科教育の課題について考察。結果、面接指導での集中力や理解力の向上が見られたと報告。	福智高等学校

H30	4	九州地区通研大会	人権教育	本校における人権教育の取組み～一人ひとりの生徒を大切に～	自校での人権教育の重点課題、年間計画、人権教育に関する生徒アンケートの結果を紹介。結果として、生徒の人権意識が学年につれ高まることや、多様な生徒が在籍、集団を形成している結果、生徒達により影響（人権意識に）を与えていることを報告している。	福岡県立博多青松高等学校
H30	5	九州地区通研大会	放送教育	NHK高校講座「総合的な探究の時間」と学習アプリ「Clica」を利用した総合的な学習の時間のスクリーニングモデルケースの開発について	「主体的・対話的で深い学び」を「確かな学力」のための授業改善の柱となる中で、レポートが主体的である反面、対話的は難しい。本事例では、NHK高校講座と無料の学習アプリ「Clica」を使い、主体的・対話的で深い学びのできる面接授業の在り方を検討した。	宮崎県立延岡青朋高等学校